

資料（調査票）

アレルギー性疾患に関する児童施設調査

2009年9月

このアンケートは、児童施設等におけるアレルギー疾患をもつ乳幼児の状況や、施設における対応状況等を調査し、現状を把握するとともに、今後、東京都が実施する、子どものアレルギー対策事業における児童施設対策のための資料とさせて頂くためのものです。皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

本調査は、上記目的のみに用いられ、調査結果は統計的に処理いたします。
個人・団体が特定される心配はございません。

※アンケート御記入後、同封の封筒に入れ、投かんしてください

ご記入に際してのお願い

- 1 アンケートのご回答は、**施設長（管理者）**が行ってください。
- 2 ご回答は、次の要領で行ってください。
 - 回答順序は、各設問の番号順にお答えください。
 - 回答項目のうち、あてはまる番号に○をつけてください。
 - ○の数は、（1つだけ○）（いくつでも○）といった（ ）内の指示に合わせてつけてください。
 - 内や「その他」の（ ）内には、ご意見を具体的にお書きください。
- 3 質問内容など不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。



東京都福祉保健局

東京都福祉保健局 健康安全部 環境保健課 指導係

TEL：03（5320）4494（直通）

※本調査は、東京都が調査会社【株式会社総合企画】へ委託して実施しています。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて
9月30日（水）までにご投函ください

問1 貴所・園の所在地、開所（園）時間、運営形態、児童数、職員数についておうかがいします。
 （ ）の中に数字又は区市町村名をご記入ください。
 「C.種類・運営形態」については、該当する区分を で囲んでください。（1つだけ）
 「D.児童数」「E.職員数」については在籍人数をご記入ください。

A.所在地	()区・市・町・村				
B.開所（園）時間	()時()分 ~ ()時()分 <small>24時間単位でお答えください</small>				
C.種類・運営形態	ア.認可保育所	1. 公立	2. 私立		
	イ.認証保育所	1. A	2. B		
	ウ.幼稚園	1. 公立	2. 私立		
D.児童数	男児	女児	E.職員数	常勤	非常勤
1. 0歳児			1. 施設長		
2. 1歳児			2. 保育従事職員		
3. 2歳児			3. 栄養士		
4. 3歳児			4. 看護師		
5. 4歳児			5. 調理及び調理補助		
6. 5歳児			6. 事務		
7. 6歳児			7. その他		
8. 合計			8. 合計		

【 】 貴所・園における、各アレルギー疾患をもつ乳幼児状況などについておうかがいします

問2 貴所・園では、平成21年4月1日時点で、保護者からの申し出等によりアレルギー疾患をもつ乳幼児の実態を把握していますか。「(1)」では、各疾病ごとの把握の有無について、お答えいただき、把握している場合は「(2)」では各疾病ごとの人数をご記入ください。なお、複数の疾患をもつ乳幼児については、それぞれにご記入ください。

	A.ぜん息	B.アトピー性皮膚炎	C.食物アレルギー			
(1) 把握の有無	1. 把握していない 2. 把握している	1. 把握していない 2. 把握している	1. 把握していない 2. 把握している			
(2) 把握している場合は人数をご記入ください	男児	女児	男児	女児	男児	女児
1. 0歳児						
2. 1歳児						
3. 2歳児						
4. 3歳児						
5. 4歳児						
6. 5歳児						
7. 6歳児						
8. 合計						

	D. アナフィラキシー (注1)	E. アレルギー性鼻炎 (注2)	F. アレルギー性結膜炎 (注2)
(1) 把握の有無	1. 把握していない 2. 把握している	1. 把握していない 2. 把握している	1. 把握していない 2. 把握している
(2) 把握している場合は 人数をご記入ください	男児	女児	男児
1. 0歳児			
2. 1歳児			
3. 2歳児			
4. 3歳児			
5. 4歳児			
6. 5歳児			
7. 6歳児			
8. 合計			

(注1) 「D. アナフィラキシー」は、これまでに、特定の物質や食品に対して、アナフィラキシーあるいはアナフィラキシーショックを起こしたことのある乳幼児の人数を合わせて記入ください。

アナフィラキシーとは

食物、薬物、ハチ毒などが原因で誘発される全身性の急性アレルギー反応をいいます。じんましんなどの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、呼吸困難などの呼吸器症状、目や鼻などの粘膜症状が複数同時(2カ所以上)にかつ臓器に急激に現れた状態のことを指します。その中でも、呼吸困難、血圧低下、意識障害がある場合をアナフィラキシーショックと言います。

(注2) 「E. アレルギー性鼻炎」「F. アレルギー性結膜炎」は、スギ花粉や雑草による季節的な花粉症によるものを含みます。

問3 アレルギー疾患をもつ乳幼児の把握方法について、あてはまるものは、どれですか。問3 - 1については、「入所調査票や面談などの保護者の申し出により把握している」場合、各疾病ごとに1～6までの該当する項目をすべて選んでください。また問3 - 2については、「医師の診断書や指示書の提出を求めている」場合、各疾病ごとに1～6までの該当する項目についていくつでも選んでください。(いくつでも)

	問3 - 1	問3 - 2
	入所調査票や面談などにより把握している	医師の診断書や指示書の提出を求めている
1. ぜん息	1	1
2. アトピー性皮膚炎	2	2
3. 食物アレルギー	3	3
4. アナフィラキシー	4	4
5. アレルギー性鼻炎	5	5
6. アレルギー性結膜炎	6	6

【 】貴所・園において、平成21年4月1日から現在（本調査票記入時）までの間における、各アレルギー疾患の乳幼児への配慮や管理状況などについてにおうかがいします

問4 何らかの配慮や管理を必要とするぜん息をもつ乳幼児がいますか。（1つだけ）

1. いる

2. いない

問5へ

問4-1（問4で「1.いる」と答えた方に）

ぜん息をもつ乳幼児への配慮などについてあてはまるものをすべて選んでください。

（いくつでも）

日常生活や行事での配慮について

1. 毛や羽のある動物（ハムスター、鳥など）に接触しないよう配慮している
2. 運動遊びや水遊び、お散歩などは、体調を十分に観察し、状況によって制限している
3. ほこりが舞う環境から避けるよう配慮している（掃除の時は別室に行かせる、窓を全開にするなど）
4. ぜん息を持つ幼児本人に対して、発作を予防するために急に走らない、運動時の見学などの話をしている
5. 施設の敷地内は全面禁煙にしている

服薬管理について

6. 保護者からの依頼（与薬依頼票など）により、主治医の投薬指示書に基づき処方された長期管理薬（症状がなくても毎日使用する薬）を預かることや、内服をさせる場合がある
7. 保護者からの依頼（与薬依頼票など）により、主治医の投薬指示書に基づき処方された発作治療薬（発作が起きたときだけ使用する薬）を預かることや、内服をさせる場合がある

ぜん息発作及び重症化防止の対策について

8. 入所・入園時に、児童票などで、ぜん息に関する必要な情報を把握している（これまでの経過や症状、かかりつけ医、処方薬、発作時の対応や緊急連絡先、搬送できる病院等について）
9. 日頃から、連絡票などで、本人の体調について保護者と連絡をとりあっている
10. ぜん息をもつ乳幼児の情報（発作を誘発しやすい運動、発作時の対応、日頃の体調）を職員間で情報共有している
11. 職員全員に対して、ぜん息に関する基礎知識の充実を図っている（研修への参加、勉強会の開催など）
12. ぜん息発作時にとる対応の事前確認（必要に応じて訓練の実施）を行っている

問5 何らかの配慮や管理を必要とするアトピー性皮膚炎をもつ乳幼児がいますか。（1つだけ）

1. いる

2. いない

問6へ

問5-1（問5で「1.いる」と答えた方に）

アトピー性皮膚炎をもつ乳幼児への配慮などについてあてはまるものをすべて選んでください。

（いくつでも）

日常生活や行事での配慮について

1. 毛や羽のある動物（ハムスター、鳥など）に接触しないよう配慮している
2. 遊びや散歩、プールの際、長時間紫外線に浴びさせない（日焼け止めクリームや塗布、日陰を歩く、日よけ用帽子や衣服の着用など）よう配慮している
3. 汗をかいた後は、汗を拭きとっている
4. 汗をかいた後は、シャワー浴を実施している
5. プールの後には、皮膚に付着した塩素を落とすためにシャワー浴を実施している

服薬管理について

6. 保護者からの依頼（与薬依頼票など）により、主治医の投薬指示書に基づき処方された外用薬を預かることや、塗布を行う場合がある
7. 保護者からの依頼（与薬依頼票など）により、主治医の投薬指示書に基づき処方された内服薬を預かることや、内服をさせる場合がある

問6 何らかの配慮や管理を必要とするアレルギー性鼻炎・結膜炎をもつ乳幼児がいますか。 (1つだけ)

1. いる	2. いない	問7へ
-------	--------	-----

問6-1 (問6で「1.いる」と答えた方に)
アレルギー性鼻炎・結膜炎をもつ乳幼児への配慮などについてあてはまるものをすべて選んでください。 (いくつでも)

<p><u>日常生活や行事での配慮について</u></p> <ol style="list-style-type: none">1. 毛や羽のある動物(ハムスター、鳥など)に接触しないよう配慮している2. 特に花粉の飛散時期やホコリの多い日等の屋外活動(遊びや、お散歩、運動会等)への参加の際、体調を十分に観察し、状況によって制限している <p><u>服薬管理について</u></p> <ol style="list-style-type: none">3. 保護者からの依頼(与薬依頼票など)により、主治医の投薬指示書に基づき処方された点眼薬・点鼻薬を預かることや、点眼・点鼻を行う場合がある4. 保護者からの依頼(与薬依頼票など)により、主治医の投薬指示書に基づき処方された内服薬を預かることや、内服をさせる場合がある

問7 何らかの配慮や管理を必要とする食物アレルギー、またはアナフィラキシーの既往(過去にアナフィラキシーを起したことがある)をもつ乳幼児がいますか。 (1つだけ)

1. いる	2. いない	問8へ
-------	--------	-----

問7-1 (問7で「1.いる」と答えた方に)
食物アレルギー、またはアナフィラキシーの既往をもつ乳幼児への配慮などについてあてはまるものをすべて選んでください。 (いくつでも)

<p><u>日常生活や行事での配慮について</u></p> <ol style="list-style-type: none">1. 給食やおやつ時間は、誤食防止(他の幼児の食事を食べない)のために職員が同じテーブルにつくなどの配慮をしている2. 牛乳パックリサイクル体験や豆まきなどの活動を実施する際は、原因となる食材に触れたり吸い込まないように配慮している3. 食物アレルギーを持つ幼児本人に対して、アナフィラキシー予防のために、誤食防止などの話をしている <p><u>アレルギー対応食の提供状況について</u></p> <ol style="list-style-type: none">4. 給食やおやつ原材料を詳細に記入した献立表を事前に配布している5. 除去が困難なメニューの場合に一部または全面に弁当を持参してもらっている6. 原因となる食材を除いた給食(除去食用)の専用調理設備で作った除去食を提供している7. 原因となる食材を給食から除き、そのことによって失われる栄養価の食材を補って提供する給食(代替食用)の専用調理設備で作った代替食を提供している <p><u>アナフィラキシー発症時の服薬管理について</u></p> <ol style="list-style-type: none">8. 保護者からの依頼(与薬依頼票など)により、主治医の投薬指示書に基づき処方された薬を預かることや、内服をさせる場合がある9. 保護者からの依頼により、主治医から処方されたアドレナリン自己注射薬を預かっている (アドレナリン自己注射薬を処方されている幼児の数 () 名) <p><u>アナフィラキシーの発症及び重症化防止の対策について</u></p> <ol style="list-style-type: none">10. 入所・入園時に、児童票などで、食物アレルギーやアナフィラキシーに関する必要な情報を把握している(これまでの経過や症状、かかりつけ医、処方薬、アナフィラキシー時の対応や緊急連絡先、搬送できる病院等について)11. 日頃から、連絡票などで、本人の体調について保護者と連絡をとりあっている12. 食物アレルギーの乳幼児やアナフィラキシーの既往がある乳幼児の情報(日々の体調など)を職員間で情報共有している13. 職員全員に対して、食物アレルギーやアナフィラキシーに関する基礎知識の充実に図っている(研修への参加、勉強会の開催など)14. アナフィラキシー発症時にとる対応の事前確認(必要に応じて訓練の実施)を行っている15. アドレナリン自己注射を職員が注射できるように研修を行っている

【 】 貴所・園における給食・おやつ等の提供状況についておうかがいします

問8 貴所・園では、給食やおやつを提供していますか（1つだけ）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 提供している	<input type="checkbox"/> 2. 提供していない	問9へ
---	-------------------------------------	-----

問8-1（問8で「1.提供している」と答えた方に）
給食を提供している場合、その調理の方式についてあてはまるものを1つだけ選んでください。（1つだけ）

1. 所・園に給食調理施設がある自所・園単独方式 2. 共同調理場で調理した給食を、所・園内で配膳して提供するセンター方式 3. 民間業者が弁当をつくって、所・園に届ける弁当方式 4. その他（)
--

【 】 貴所・園において、過去のぜん息発作やアナフィラキシー発症時対応などについておうかがいします

問9 貴所・園では、過去1年間にぜん息発作を起こした乳幼児がいましたか（1つだけ）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. いる	<input type="checkbox"/> 2. いない	問10へ
---	---------------------------------	------

問9-1（問9で「1.いる」と答えた方に）
ぜん息発作を発症した乳幼児の事例の中で、最も重症であった状態に近いと思われるものを1つだけ選んでください。（1つだけ）

1. 小発作	呼吸の音は軽くゼーゼーヒューヒューしていた 呼吸は苦しそうであったが、横になることはできた 食事はほぼ普通に食べられた)
2. 中発作	呼吸の音が明らかにゼーゼーヒューヒューしていた 呼吸が苦しそうで、座った状態を好んだ（横になることを嫌がる） 食事はやや食べにくそうで、お昼寝時は時々目を覚ましていた)
3. 大発作	呼吸の音が著明にゼーゼーヒューヒューしていた 呼吸はとても苦しそうで、横になれず、前かがみになりがちであった 食事は食べられず、お昼寝もできなかった)

問9-2（問9で「1.いる」と答えた方に）
その事例では、貴所・園の職員はどのように対応しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。（いくつでも）

1. 椅子に座って休むなど楽な姿勢をとらせ、水をのませた 2. 持参薬（発作治療薬）を吸入させた、または内服させた 3. 保護者へ連絡した 4. かかりつけ医や園医に連絡をして指示を受けた 5. 職員が車で医療機関に受診させた 6. 救急車を呼んだ 7. その他（)
--

問10 貴所・園における、ぜん息発作を起した際の対応に係るマニュアルの活用状況について、あてはまるものを1つだけ選んでください。(1つだけ)

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 所・園で作成したものを活用している | 3. 検討中(作成予定も含む) |
| 2. 区市町村等で作成したものを活用している | 4. 作成、検討の予定はない |

問11 貴所・園では、過去3年間に食物アレルギーをもつ乳幼児が誤食(原因食物を誤って食べるなど)してアナフィラキシー症状を起こした乳幼児がいましたか(1つだけ)

- | | | |
|-------|--------|------|
| 1. いる | 2. いない | 問12へ |
|-------|--------|------|

問11-1 (問11で「1.いる」と答えた方に)
アナフィラキシーを発症した乳幼児の事例の中で、最も重症であった状態に近いと思われるものを1つだけ選んでください。(1つだけ)

- | |
|--|
| 1. (部分的なじんましんがでていた
軽い腹痛があった
軽く唇や目がはれていた) |
| 2. (時々咳がでていた
全身にじんましんが広がっていた
腹痛あり、嘔吐や下痢が1~2回あった
唇や目や顔全体がはれてきた) |
| 3. (咳き込み、呼吸の音がゼーゼーヒューヒュー、呼吸が苦しそうであった
繰り返しの嘔吐や下痢となった
ぐったりし、意識がうすれていた) |

問11-2 (問11で「1.いる」と答えた方に)
その事例では、貴所・園の職員はどのように対応しましたか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 安静にさせ、経過観察を行った |
| 2. 対応できる職員を集めた |
| 3. 保護者へ連絡した |
| 4. かかりつけ医や園医に連絡をして指示を受けた |
| 5. 職員が医療機関に受診させた |
| 6. ステロイド内服薬等を内服させた |
| 7. 人命救助の観点から職員がアドレナリン自己注射薬を使用した |
| 8. 救急車を呼んだ |
| 9. その他() |

問12 貴所・園における、アナフィラキシーを発症した際の対応に係るマニュアルの活用状況について、あてはまるものを1つだけ選んでください。(1つだけ)

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 所・園で作成したものを活用している | 3. 検討中(作成予定も含む) |
| 2. 区市町村等で作成したものを活用している | 4. 作成、検討の予定はない |

裏面も忘れずにご記入ください

【 】アレルギー疾患に関する研修の参加についておうかがいします

問13 貴所・園では、過去3年間にアレルギー疾患について、職員の知識向上のための研修に参加されていますか。(1つだけ)

1. 参加している	2. 参加していない	問14へ
-----------	------------	------

問13-1 (問13で「1.参加している」と答えた方に)
 研修の主催者とテーマについて、あてはまるものはどれですか。「A」～「C」の各主催について、参加されたことのあるものテーマをすべて選んでください。(いくつでも)

	A 東京都主催	B 区市町村主催	C 民間主催
1. ぜん息	1	1	1
2. アトピー性皮膚炎	2	2	2
3. 食物アレルギー	3	3	3
4. アレルギー性鼻炎	4	4	4
5. アレルギー性結膜炎	5	5	5

【 】「アレルギー」に関するご意見、ご要望についておうかがいします

問14 行政(都や区市町村主管課)に対する、ご意見やご要望がありましたらご記入ください。

問15 医療機関に対する、ご意見やご要望がありましたらご記入ください。

問16 保護者に対する、ご意見やご要望がありましたらご記入ください。

問17 その他、ご意見やご要望がありましたらご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力大変ありがとうございました。
 ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて9月30日(水)までにご投函ください。